

第9号

会報 めいおんの会

発行 平成26年3月15日

「めいおんの会」(名音大出身教員の会)

事務局 名古屋市緑区大清水四丁目 522

TEL・FAX (052) 877-1243

発行責任者 会長 百合草 薫

「めいおんの会」会員の皆様へ

名古屋音楽大学特任教授 小泉 孝(教職指導)

「めいおんの会」の皆様へメッセージを送らせていただく機会をいただき、うれしく、また、光栄に思っています。

私は、かつて名古屋市立学校に勤務中、名古屋音楽大学卒業生何人もの方々と、様々なかかわりをもたせていただけてきました。音楽教育研究の研修会で額を突き合わせて知恵を絞り合ったり、教育委員会からいただいた仕事に汗を流し合ったりと思い出は尽きません。縁あって2011(平成23)年4月から、名古屋音楽大学で教職指導の一端を担わせていただくようになりました。浅田邦穂先生の仕事を引き継ぎ、若い優れた才能、教育職への熱い思いに出会うことができ、喜びに満ちた毎日を送らせていただいています。何よりうれしいのは、私の大好きな音楽が職場のいたるところに満ち溢れていることです。

稲葉地に学んだ同窓の教員組織「めいおんの会」。その会員には、本務教員として、また、常勤、非常勤の講師として各地で音楽教育の充実発展に心血を注いでいらっしゃる方、各学校になくはならぬ存在として学校運営に携わっていらっしゃる方がたくさんいらっしゃいます。そんな方々から学ぶことの多い私が、皆様に対して何かを申し上げることに躊躇しつつ、名音大を愛する気持ちに免じていただき、あえて今強く願っていることを2つ上げさせていただきます。

まず、大学在学時に音楽と向き合ったひたむきな姿勢を、生涯大切にしていきたいということです。今、私は、目の前にいる学生諸君の、日々、各々の音楽を深め、高め、広げている姿に触発されています。そして、教育実習や介護等体験を通して、音楽で伝えるむずかしさと格闘しつつ、伝わったときの喜びの楽しい報告を聞くことは、私を音楽が好きになったときの原点に帰してくれます。あの時の、一音に懸けた研ぎ澄まされた瞬間や、自分の音楽で何かが聴衆に伝わった経験を宝物にさせていただければと思います。

もう一つは、母校名音大をもっと利用していただきたいということです。名音大には、音楽を始め様々な分野のオーソリティーがたくさんいらっしゃいます。皆さんの後輩である在学生も、学内外を問わず演奏の機会を広げています。素晴らしい音楽施設設備が整っています。そして、この「めいおんの会」。互いに高め合えるかけがえのない存在、同窓の仲間と出会える会です。大いに利用しようではありませんか。

皆さんが感じていらっしゃる音楽の楽しさ、素晴らしさを、教師として子どもたちに十分伝えていただき、音楽を友として豊かな人生を送ることができる人をたくさん育ててください。音楽と教育のプロとして、各地でさらに、さらにご活躍いただくことを期待するとともに、「めいおんの会」のますますの発展を心よりお祈りしています。

平成26年度 総会・研修会・懇親会のお知らせ

日 時	8月31日(日) 10:00~15:00
会 場	名古屋音楽大学 博聞館D101教室(総会・研修会)、学園食堂(懇親会)
講 師	名古屋音楽大学非常勤講師 岡崎美奈江先生(アシスタント 同大学卒業生・学生)
研修会内容	「箏と尺八の演奏と実技研修」 ※ 詳細は後日お知らせします。

私の授業

名古屋・川名中学校 宇佐美ほたか（H5卒14期）

自分自身の今年度の授業を振り返ると、反省することがたくさんあります。しかし、少しだけ子どもがのったてきたな、楽しんでいるかなと感じられた授業もありました。気持ちのよい授業を行うために、日頃心掛けていることを紹介させていただきたいと思います。

♪ 子どもへの言葉掛け

《クラス全体への言葉掛け》 特に前の時間叱られたなと気付いたときは、気持ちを切り替えて授業を受けられるように、元気な歌から始めます。誰よりも私自身が声を出して楽しそうに歌うようにしています。また、よい歌声で授業が始まったときにも一時間この雰囲気、と伝えます。

《個人への言葉掛け》 授業の始まりに体調の良くなさそうな生徒を見かけたら、歌うときに無理をしないようにと、ひとこと声を掛けるようにしています。大抵の生徒は一時間頑張ります。また、歌やリコーダーが苦手な生徒が、鑑賞の授業でピンポイントの意見を言ったとき、少しでも音楽が好きになってくれるとうれしいなという願いを密かに込めながら、たくさんほめるようにしています。全員に一年間で一度は音楽の授業楽しかったなと思ってもらえるのが目標です。

♪ 授業の準備

《教材研究》 楽曲との出会わせ方をいかに工夫するかがとても大切であると、多くの方に言われます。「夏の思い出」、「花」、「ブルタバ」などは、その楽曲をイメージしやすい写真をスクリーンに映すこともあります。オーケストラの楽曲を鑑賞するとき、事前にスコアを見ながら聴くこともおすすめです。楽曲の形式、活躍する楽器、共通事項をどの部分で取り上げるとよいか、限られた授業時間数で効率よく、子ども達にも興味をもって鑑賞させられるかと思っています。

《授業規律》 指示や説明を聞くときは活動を止める、合唱台への移動は素早く行うなど、音楽以外の本当に基本的なことを最初に話します。活動が多い教科だけに、全員が授業の約束ごとを共通理解して授業に臨まなければ、勝手なことを行って雰囲気がよくない時間になってしまいます。いろいろ抱えていて横を向いてしまう子どもには、授業以外に廊下で出会ったときなどにできるだけ声を掛けるようにして、少しでも人間関係を築くようにしています。

以上、つたないものを簡単に少しだけ紹介させていただきました。目の前の子ども達の実態に合った授業を展開しながら、楽しく音楽の力を伸ばしていけるように、今後も勉強を続けていこうと思います。

活躍しています！

○NHK全国学校音楽コンクール◆多羅尾恵美（名・牧の池中・H11卒20期）＜名古屋＞金賞＜県＞銀賞

○愛知県合唱コンクール◆多羅尾恵美＜県＞銀賞

○CBCこども音楽コンクール（合唱の部）◆多羅尾恵美＜中部＞最優秀賞＜全国＞審査員特別賞

○愛知県吹奏楽コンクール◆中西功（名・平田中・S61卒7期）＜名古屋＞銀賞 ◆多田直幸（碧南・中央中・H20卒29期）＜西三河＞銀賞 ◆石村佳愛（名・高杉中・H22卒31期）＜名古屋＞金賞＜県＞銀賞

○Japan Student Jazz Festival 2013 ◆塚崎崇史（名・若葉中・S60卒6期）兵庫県知事賞

※ 上位入賞された指揮の先生方です。ほかに合唱のピアノや日頃の指導・運営に携わり、上位入賞に尽力された方もいます。また、各学校での活躍を始め、文科省や教育委員会から依頼された仕事、音楽教育研究団体での活躍や講習会の講師、初任者研修の指導授業、教育研究論文の応募、音楽関係行事のスタッフ、教育相談学会での活躍、名音大の学生に教職についての講話など、多くの方が幅広く活躍しています。

《編集後記》

「私の授業」は主に若い先生方に向けて執筆していただきました。参考にいただければ幸いです。◆私の勤務するトワイライトスクールでは、名音大の学生が歌ったり音楽遊びをしたりして、子どもたちと関わっています。「めいおんの会」と大学との連携で実現しました。皆様も出前授業、芸術鑑賞、部活動の指導等に、ぜひ母校を利用していただければと思います。（ゆ）